

まちづくり基本条例取組状況に対する質疑等について

■情報共有に関する事項

1 広報いわみざわの発行

自分は毎月、目を通してはいますが、実際あまり読んでいない市民も多そうなので、たまに表紙をカラーにしてみたり、いつもと違うデザインにすれば、目を引いて中を見てもらえるのかなと思いました。

ゴミのことやその他の情報が結構載っているのです。

2 観光 Facebook について

見てみましたが、去年から更新されていませんでした。「たから」発見プロジェクトの方とはまた別の方ですか？「いいね」が600人ほどいるので、放置は勿体ないかと。色々な情報をもっと流すべき。 例) 紅葉の時期に穴場スポット など

3 岩見沢の「食べるたから」「観る遊ぶたから」パンフレットについて

Vol.1 と Vol.2 を見たことがありますが、Vol.3 は出ないのですか？

目新しさに欠けるような。最近「H0」という本で空知が特集されたり、岩見沢も注目度は少し上がっているように思います。雑貨店や飲食店、カフェにも置いてもらえるような、もう少しカジュアルなパンフレットもいいかと思います。レトロなスポットをピックアップしたりなど。

隣町の由仁町、江別市のパンフレットは手に取って見たくなるようなものでした。情報通な人たちは自ら調べるとはいますが、そうじゃない人、フラッと来た人にいかにコンパクトに、でも魅力的に伝えるかだと思います。パンフレット系にもう少し力を入れてほしいです。

4 全般的なインターネットの活用について

各種の情報を、市オフィシャルサイトを中心に掲載しているが、オフィシャルサイトそのものが非常に使いづらく見づらいので、必要な情報に辿り着けない可能性がある。アンケートの結果等を探しても見当らない。Facebook、Twitter に関しても、効果的に活用されているとは言い難い。いずれも発信する内容と対象について検討する必要がある。取り組みの情報発信のほとんどに関することでもあり、留意できればと思う。

5 全般的なことについて

予算や決算の概要を分かりやすくパンフレットやホームページで周知する。(目玉のベスト10なども)

議会の本会議については、インターネット中継を予定しているとのことであるが、委員会についても実施すべき。中継は固定カメラ等で簡素化して経費を低く抑える。

6 その他

「まちづくり基本条例取組状況」を今後どのように活用・情報提供する予定なのか知りたい。

7 全般的なことについて

目で見える広報だけでなく、音で聴ける広報もあり、ICT を活用した広報も積極的に展開しており、幅広い時・対象に向けて情報を発信しているという印象を持った。

主に誰に対して、どのような目的・シーンで共有なのか、タグ付け・図式化する等していただければ、誰へ情報が行き届いていないか、どんな時に行き届いていないか、また、情報が重複しているので予算や人員を削減すればいいのか等が分かりやすいかと思います。

例)

主な対象・時	概要	件名	趣旨・内容
全市民	行政が持つ情報全般	広報いわみざわの発行	
目の不自由な方	市政の動向	声の広報いわみざわ録音配布	
〃	市政の動向	広報いわみざわの点訳	
市外来訪者・観光客		岩見沢観光パンフレット発行	
小学生の子を持つ保護者	学校選択	岩見沢市立中学「学校選択制度」～	
市内在住の外国人			
若者		Twitter、Facebook の運用	
災害時		Twitter、Facebook の運用	
〃		FM はまなす	
〃		街頭放送	
教育関係団体	教育行政	岩見沢市の教育	

■参加に関する事項

1 14. 男女共同参画市民フォーラム in いわみざわ

今後の希望ですが、男女共同参画の社会推進のために、市民に対する啓発活動を行うことは重要なことです。特に市の大学生、高校生、中学生を対象として、「デートDV」についての出前講座を実施していったほうがでしょうか。

演題「デートDVについて考えよう～相手を尊重する関係を築く」を男女共同参画担当主幹の紹介で12月8日に岩見沢緑陵高等学校で実施の予定です。

今後も市内の高校生や中学生を中心に広めていきたい。

2 楽しいキッズスポーツ教室について

どこでやっていますか？ そういった習い事の一覧表などはないですか？

3 市民参加事業・ワークショップ等について

魅力的な事業やワークショップが行われているので、その結果を知りたい。

市民の健康・自然に関わるものが多く、岩見沢を知る事業が少ないのではないかと考える（とはいえ難題ではある）。小学校時に「わたしたちのまち」的な岩見沢を学ぶだろうが、その記憶が消えないうちに、岩見沢を市民に深く理解してもらうことはできないかと考える。

4 各種事業の内容及び成果について

自治会及び団体レベルで各種の取り組みが行われており、まちづくりの基礎となっていると考えられる。しかしながら、参加事業も含め、子どもを対象にしたものが少ないので、そのあたりの理由や状況を知りたい。また、観光事業等の成果についても詳細を知りたい。なお、単発事業か継続な事業かの区別をはっきりとさせ、その成果についても分析を行いたい。

5. ウォーキングのつどい

「ウォーキングのつどい」と「市民歩け歩け大会」は同じことをしているのでは？担当課係が違うので対象者が違うとは思いますが、一緒にして全市民に大々的に宣伝活動を広げては？

6. 全般的なことについて

情報を発信するだけではなく、ワークショップ、アンケート、懇談会等、市民からの意見を聴く機会の創出にも多く取り組んでいることを知った。

ただ、このような機会に参加する市民は、もともとまちづくりに積極的に参加している人や、情報感度の高い人が多いような気がする。まちづくりに関心のない人の為にも、継続的な開催を希望したい。開催が決まった都度、情報発信するのではなく、百餅祭りのように毎年〇月にこの場所で開催というのが、明確だと、周知のスピードも加速されるのではないだろうか。岩見沢市教育委員会では、多世代が教育について考え交流する「みんなで教育を考える日」を毎年10月に開催しており、30回以上続いている。教育について意見があれば、この会で情報交換や意見を伝えることができるであろう。

例) 「岩見沢まちなか未来会議」を毎年1回、10月にであえーるで開催することを恒例行事にすれば、中心市街地活性化協議会で作成した素案→HP と直接「岩見沢まちなか未来会議」の両方で意見を聴く→市政に反映することができるし、会議に参加した市民が、「来年10月にもあるから、まちなかのまちづくりに意見があるんなら、来なよ。」と他者を誘いやすいのではないか。

■協働に関する事項

1. 北村地区福祉活動実行委員会

高齢者が生きがいをもって健康で明るい生活が出来るように推進することは、とても重要なことだと思います。今後とも、福祉、スポーツ大会、敬老会など市民のささやかな憩いの場を続けていただきたい。

2. グルメファンド実行委員会負担金

そらちグルメファンドの内容、実態が分かりません。全市民に関係ありますか？

3. 全般的なことについて

金銭的支援の状況について、予算もしくは決算の金額も記載してほしい。

町会、自治会への金銭的支援に関連して、地域コミュニティの活性化に対する意見募集で提案する。